

本書の利用について

1 調査の目的

米穀生産者の米穀の供給高、消費高、販売高、現在高等の実態を把握し、食糧行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査機関

農林水産省 ——— 地方農政局、地方農政事務所

3 調査対象

米穀の生産世帯（子実の生産を目的とした稲の延作付面積が10アール以上の農業経営を行う世帯等（沖縄県を除く。））

4 調査項目

米穀の生産世帯における米穀の月別の供給高、消費高、販売高、現在高等。

販売高の項目については、平成16年4月より計画流通制度が廃止されたため、調査項目を以下のとおり整理した。

16年3月まで	計画流通米売り	計画外流通米売り	無償譲渡
16年4月から	生産調整方針を作成した出荷業者に販売した数量（以下、「農協等売り」）	左記以外に販売した数量（以下、「農協等以外売り」）	無償譲渡

5 調査方法

各都道府県における調査対象世帯（平成15年産の稲の作付面積が10アール以上の世帯210万5千戸）から、任意系統抽出法によって8,310戸の標本世帯を抽出し、あらかじめ調査票を配布し上記調査項目の記帳を求め、その結果を月ごとに取りまとめの上、都道府県別に月間の数量を推計した。

6 調査期間

平成15年11月から平成16年10月まで

7 その他

本書利用に当たっての問い合わせ等連絡先

農林水産省総合食料局食糧部計画課（生産調査班）

電話 03(3502)8111（内線5757、5761）